

会 議 名	平成 27 年度 第 2 回 3 R 推進行動会議
開 催 日 時	平成 27 年 7 月 22 日 (水) 午後 2 時から 4 時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ 3 階会議室 A
委 員	(出席者) 鬼沢座長、中里委員、木原委員、関根委員、山田委員、 大駒委員、岩政委員、小沼委員、太田委員、荒川委員 (欠席者) 森委員、櫻林委員、島村委員、有賀委員、浅山委員
事 務 局	福田係長、杉山、高島、藤野、秋元
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1. 報告事項 (1) 「第 10 回ふれ愛まつりだ！芝地区」 出展報告 (2) 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告 (3) 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 2. 意見交換 (1) 段ボールコンポスト懇談会&園芸教室の開催について (案) (2) 事業者向けセミナーの開催について (案) (3) 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業について (4) 「みんなと 3 R」パネル展示会の開催について (案) (5) みなと区民まつりブース出展について (案) (6) みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトについて (案) (7) リサイクル施設見学会の開催について (案) (8) エコ料理教室の開催について (案) (9) 平成 28 年度の新規事業等について
配 布 資 料	[事前資料] なし [席上配付] 資料 1 「第 10 回ふれ愛まつりだ！芝地区」 出展報告 資料 2 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告 資料 3 「みんなと 3 R」ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 資料 4 段ボールコンポスト懇談会&園芸教室の開催について (案) 資料 5 事業者向けセミナーの開催について (案) 資料 6 芝浦運河まつりリユース食器貸出事業について 資料 7 「みんなと 3 R」パネル展示会の開催について (案) 資料 8 みなと区民まつりブース出展について (案) 資料 9 みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクト (案) 資料 10 リサイクル施設見学会の開催について (案) 資料 11 エコ料理教室の開催について 資料 12 平成 28 年度の新規事業等について [その他資料] ・親子向け段ボールコンポスト講習会 チラシ

主な発言・報告内容

1 港区挨拶

3R活動を広めるために、お祭りでのブース出展や、段ボールコンポスト講習会等を行ってきた。これから年度の後半に向けて、いろいろな事業を展開予定だが、より多くの皆さんに、3Rについて知っていただき、実際の行動につなげ、ごみが減る循環型社会になるように、皆さまのご意見を参考にしたい。

2 報告事項

(1) 「第10回ふれ愛まつりだ！芝地区」出展報告

●事務局からの説明

6月13日(土)に港区立芝公園で開催された「ふれあいまつり」に初めてブース出展をし、3Rの普及啓発と不用園芸土の回収を行った。ブースでは、パネルを使って、港区3R推進行動会議の活動や、段ボールコンポスト、リユース食器の紹介を行い、港区のごみの分別をお知らせする分別クイズでは、192名の参加者があった。今回は、段ボールコンポスト講習会のサポーターにボランティアとして御協力いただき、3RをPRした。また、みなとリサイクル清掃事務所の事業活動を報告するミニかわら版を、329部配布した。不用園芸土の回収は、17件、100kgであった。

●主な発言

・ごみ分別クイズで、傾向として参加者が分からなかった問題はどのようなものか。

(鬼沢座長)

⇒粗大ごみの出し方が、難しかったようである。ただ、多くの方が5問中3問程度正解された。また、かける部分が金属製のプラスチックのハンガーは、通常は資源プラスチックとして出せるが、それを不燃ごみや、金属ごみと回答する方がいた。(事務局)

(2) 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告

●事務局からの説明

7月11日(土)に、家族で取組む親子向けの段ボールコンポスト講習会を開催した。ごみ分別クイズを取り入れた環境学習と、講師による段ボールコンポストのつくり方・使い方についての説明を行い、その後、各グループにて段ボールコンポストを組み立てた。本講習会には、21組48名の親子が参加した。昨年度、講習会に参加した小学生が、自由研究として

報告し、最優秀賞を受賞された旨をチラシに記載し、区内小・中学校や区有施設に送付した。チラシは、区内の全小学校の1年生から6年生に対して、7,900部を配布した。アンケート結果によると、講習会には、多くの方がチラシやポスターをみて参加していた。また、9割以上の方が、講習会が参考になったと回答した。

●主な発言

- ・出前講座を行ったおかげで、親子の参加者が増えたのではないかと。(委員)
- ・講習会で参考にならなかったという人が一人いたが、何か意見を言われていたか。

(委員)

⇒回答者が分からないことや、アンケートにも記載がなかったため、不明である。

(事務局)

- ・サポーターからの意見で、食育と絡めるといいという意見があったが、私もそう思う。

(座長)

(3) 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

●事務局からの説明

これまでTwitterやブログ等を通じてイベントの告知や開催報告を行ってきた。Twitterやブログは気軽に情報を発信することができ、3Rに関する情報やイベントの告知等のツールとして役立っている。2015年4月は管理者変更のため、サーバー契約譲渡がありその間、更新及び閲覧数の確認ができなかったが、5月途中から集計を始めました。6月は、ホームページの閲覧数が653名であった。

●主な発言

- ・閲覧回数が6月から伸びているが、何か理由があるのか。(座長)

⇒各種イベントを行い、周知や実施報告を掲載したため、閲覧回数が増えた。(事務局)

- ・Facebookの検索で、みんなと3Rと入力しても全く検索に引っかからない。構造上に問題はないか。興味を持った人は、チラシのアドレスを入力しないとホームページに辿り着けない構造になっていないか。(委員)

⇒前回の会議でご指摘をいただき調査した。こちらで使用したPC、スマートフォン等では、検索が可能であった。ブロック等はないと考える。(事務局)

- ・閲覧回数は、閲覧された回数なのか、それとも閲覧された人数なのか。(委員)

⇒ 閲覧された回数をカウントしている。（事務局）

・3Rという言葉に対して、「サンアール」と、「スリーアール」と言う言葉が混在している。統一すべきである。（委員）

⇒ 港区では、子どもでも親しみやすいように、あえて英語で読まず「サンアール」としている。（事務局）

3 意見交換

(1) 段ボールコンポスト懇談会の開催について（案）

●事務局からの説明

今年度は懇談会と名前を報告会から変更し、対象を明確に分けて、二部構成にする予定である。第一部は、5,7月の講習会の受講者を対象に段ボールコンポストの取り組みや感想など、意見交換を予定している。第二部は、講習会に参加されていない区民の方を交えて、園芸の講師をお呼びし、段ボールコンポストで出来た堆肥の使い方や、ベランダでの園芸についてご紹介する予定である。

●主な発言

・昨年度の参加者の年齢層を教えてください。（委員）

⇒ 昨年度は、27組30名の参加があった。小学生を連れた若い親子と高齢者が多く参加していた。その間の世代の方は、あまり参加されていなかった。（事務局）

(2) 事業者向けセミナー開催について（案）

●事務局からの説明

港区内事業者の3R推進を図るために平成20年度から事業者向けセミナーを開催してきた。港区では紙ごみの占める割合が高いため、紙ごみの削減に関するセミナーを主たるテーマとしている。

昨年度は、参加者が伸び悩んだこともあり、今年度はエコアクション21（中小企業向け環境経営のあり方）を紹介する内容をあわせてお伝えし、区内の在勤者及び事業者に継続的に紙ごみ等の廃棄物の削減をしていただくことを目的とする。

●主な発言

・紙ごみの削減について説明するにあたり、港区3R推進行動会議の事務局のみで説明を

行う方法と、外部から講師をお呼びして、紙ごみの削減について 30～40 分説明していただく方法とどちらが良いか。ご意見をお伺いしたい。（事務局）

・港区オフィスリサイクルシステムは、どのようなものか。（委員）

⇒ 中小企業向けである。オフィスから出る紙ごみを設置されたボックスで回収する、共同リサイクル回収システムである。（事務局）。

・「港区オフィスリサイクルシステム」のメリットと外部講師によるセミナーを行うのであれば、外部講師は、紙ごみ削減の意義について説明するといいい。社内で分別する際に、やることばかり伝えると、やらされている感がある。まず、分別することの意義やメリットを伝えると、事業者が興味を持ってくれるかもしれない。（委員）

・港区オフィスリサイクルシステムに参加する企業は増えているのか。（座長）

⇒ 分からない。（事務局）

・家庭ではだいぶ分別が進んでいると思われる。事業者については、ある程度分別が進んでいて、更に徹底させる意図なのか。（委員）

⇒ 大企業は、独自で紙ごみの分別、リサイクルを実施している場合が多い。しかし、中小企業はそこまで手が回っていない場合が多い。（事務局）

・シュレッターした紙ごみも港区オフィスリサイクルシステムに出せるのか。（委員）

⇒カーボン用紙が入っていなければ出せる。（事務局）

・紙ごみの削減やリサイクルの意義と港区オフィスリサイクルシステムをセットで説明する方法が効果的だと思う。せっかくセミナーを行うので、たくさんの企業に参加してもらうことが大事である。（座長）

・講習会の名称も、ぜひ参加してみたいという気持ちになる名称にしてほしい。

（委員）

・セミナーの告知については、大量に紙を使用する業種などに行ったほうがいい。例えば、設計事務所などは、大量に紙を使っているので、業種を絞って周知したほうが効果的である。（委員）

（3）芝浦運河まつりリユース食器貸出事業について

●事務局からの説明

芝浦運河まつりでは平成 19 年度からリユース食器を利用し、イベントでの紙皿等のごみ減量に取り組んでいる。本年度もリユース食器の利用支援を行うことで、イベントで発生するごみの減量に取り組むと共に、多くの方にリユース食器を知っていただく機会としている。昨年度は、リユース食器の返却方法の説明が無いまま貸出しを行っていた店舗があ

った。本年度は、実行委員会との連携を密にして、周知徹底に努める。

●主な発言

・リユース食器を他の商店街のお祭りに出したほうが良いと思うが、商店街の会長としてPRしてもいいのか。また、食器を戻す際に、数が合わないときはどうするのか。

(委員)

⇒リユース食器を貸し出してほしいという要望があれば、対応する。食器が割れたり、紛失したりすると、数が合わなくなるが、貸し出した団体に弁償を求めることはしない。

(事務局)

・地元商店街の阿波踊り大会で、3Rのチラシを配っている方がいてうれしく思った。

(委員)。

⇒商店街の佐藤会長の善意で配布していただいた。事務局としても、積極的にチラシ配布等に取り組んでいく。(事務局)

・リユース助をキャラクターとして使うことを検討してはどうか。(委員)

⇒実行委員会では、リユース助を使っている。(事務局)

・リユース食器は、お祭りの参加者が洗って返却するのか。(委員)

⇒汚れたまま返却をしていただき、事務局が事業者に委託して、洗浄している。予算はかかるが、リユース食器をお祭りで使うことに意義がある。使うことによって、多くの方々にごみの減量について関心を持っていただく。(事務局)

・リユース食器は洗浄費用が掛かるが、使い捨ての食器類を使用するとごみが出てしまう。その処理にも費用は掛かるが、とても大切な取組みである。(座長)

(4) 「みんなと3R」パネル展示会の開催について(案)

●事務局からの説明

・港区3R推進行動会議では3R推進月間に合わせて、毎年3Rに関するパネル展示会を開催している。区内で3Rに取り組む企業・団体の活動や港区3R推進行動会議の取り組みを紹介し、多くの方にごみの減量とリサイクルの重要性を知っていただくことを目的としている。開催日時予定日は、土日を除く平成27年10月2日(金)～10月8日(木)である。場所は、港区役所本庁舎1階ロビーである。今年度、新たに東京海洋大学が参加する予定である。

●主な発言

・来場者は増えているのか。（委員）

⇒ 職員が常駐しているわけではないので、分からない。（事務局）

・展示期間が1週間と短いので、パネル展示会の様子を、HPやFacebookに掲載するとい
い。（関根委員）

⇒可能である。検討したい。（事務局）

・ちいばすの車内モニターを使ってPRはできないか。パネル展示会では、パンフレット
を置いて、クイズ等をするのか。（委員）

⇒ ただ見てもらうだけではなく、楽しく、そして理解してもらうために、クイズラリー
やアンケートを検討している。（事務局）

・この期間に来庁した人しかパネル展示が見られないので、もったいない。他の施設でも、
このパネル展示会をしたらどうか。（座長）

⇒各地区総合支所の展示ブースで行うことを検討している。（事務局）

(5) みなと区民まつりブース出展について (案)

●事務局からの説明

毎年10月に行われる「みなと区民まつり」において、今年度も港区3R推進行動会議の
ブースを出展し、3RについてPRを行う。昨年度は家庭で取り組んでいる3R活動につ
いて、専用用紙に記入された方にガラポンを回していただき、3Rに関する景品をプレゼ
ントした。今年も大学生のボランティアに協力をいただきながら、来場者に3Rの大切さ
をPRする予定である。

●主な発言

・「ふれ愛まつりだ！芝地区」と比べると、資源回収を行っていない。どのような意図で
行うようにしているのか。（委員）

⇒ふれ愛まつりだ！芝地区は、1つのテント内で、3R推進行動会議のブースと資源回収ブ
ースがあった。みなと区民まつりでも資源回収は実施する。ただテントが2つあり、1つ
は3R推進行動会議のブースで、大学生によるボランティアでリユース食器をPRする。
もう1つのテントはみなとリサイクル清掃事務所のブースで、そこで資源回収を行う。

・ガラポンは、参加者が景品を手にする、と、テントの中に入らず帰ってしまう懸念があり
つつも、実施するのか。（委員）

⇒ 改善をしつつ、子どもから大人まで楽しめるので、今年もガラポンをやろうと考えている。(事務局)

・例年同じ場所で行っているのか。(委員)

⇒ 同じ場所である。(事務局)

・ガラポンを待つ間に3Rについて説明を行い、ガラポンをやり終えた後にチラシを配る方が良い。チラシを残すのはもったいない。ただ置いておくだけでは、チラシを持って帰らない。(委員)

・ミニかわら版のような小さい資料であれば、来場者は苦にならない。(委員)

・昨年度は、隣のブースには来場者が少なかったもので、空いているスペースがあった。隣の空いているスペースを使える工夫ができれば良いと思った。(委員)

・場所があるようであれば、牛乳パックを使った工作を展示し、子どもたちに工作をさせてはいかがか。工作をしている間に、親たちにごみ問題等を説明する。家庭ごみでできるリユース、リサイクルのお話があっても良いと思う。(委員)

(6) みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトについて(案)

●事務局からの説明

・みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクトでは、リユース食器を導入し、紙皿などのごみを減らすために、3大学20名の大学生ボランティアに協力してもらい、1,300枚のリユース食器を飲食店関係の店舗に貸し出す予定である。昨年度のリユース食器の貸し出し実績は、9店舗で1,050枚であった。

●主な発言

・使ってもらう事が目的だと思うが、みなと区民まつりの開催中にリユース食器に関する説明を来場者にしても、意味がないと思う。来場者への説明は、リユース食器を使うことを説明しているのか、リユース食器の返却の仕方を説明されているのか。(岩政委員)

⇒ リユース食器の説明と、リユース食器を使っている店舗の説明を行った。(事務局)

・導入プロジェクトなので、すでに導入しているのであれば、名称は考慮したほうがよい。大学生に説明してもらう趣旨はいいと思う。ただ、来場者にはどのように説明しているのか。リユース食器を使ってくださいとPRしているのか。数多くある店舗のうち、9店舗なので数が少ない。どのお店がリユース食器を使用しているかわからないと思う。

(委員)

⇒ 3年前までは、みんなの広場部会のみでリユース食器を使っていたが、他の部会にも貸出しをしてほしいという要望を受けて、対応している。貸し出す食器の数が決まっているので、広く浅く使っていただくことを目的としている。（事務局）

・リユース食器を使用したいという店舗が、多く出てきた場合は、リユース食器が足りなくなるのか。（座長）

⇒リユース食器は、1,300枚が上限である。1つの店舗への貸出し数は200枚以内とし、お試しで使用していただいている。リユース食器を使うことによって、ごみが減らせることを実感していただくことを目的としている。（事務局）

・みなと区民まつりは、今年度のお祭りが終了したら、すぐに来年度の準備に入るので、早め早めに動いていく。（委員）

（7）リサイクル施設見学会の開催について（案）

●事務局からの説明

・前回の打ち合わせで、川崎市のペットボトルリサイクル工場等の見学を検討すると事務局は申し上げたが、予定していた見学施設が見つらく、工場間の移動も容易ではなかった。再度、事務局よりご提案する。

今年度は、大手コーヒーチェーン店が行っている、コーヒーの豆かすのリサイクルを行う工場の見学を予定している。普段見ることの出来ない、事業系の厨芥ごみのリサイクルシステムについて理解を深めていただきたいと考えている。見学日時は、10月28日（水）午前8時30分から午後1時までである。申込人数は40名、見学先は、三友プラントサービス株式会社 横浜工場であり、コーヒーの豆かすを肥料にする唯一の工場で、見学者には、豆かすで作った脱臭剤をプレゼントをする。

●主な発言

・「通常公開がされていない」とは、どういう意味なのか。（委員）

⇒スターバックスコーヒーの豆かすをリサイクルする委託先である三友プラントサービスは、通常、一般公開をしていないが、自治体職員等が視察に来ている。（委員）

・何名ぐらいが見学可能か。（委員）

⇒ 募集の40名は、可能と考える。20名を2班に分け、見学と説明を交互に行えれば可能である。（委員）

・リサイクルフローの説明は、現地の工場側で行う。また、3R推進行動委員としての家庭ごみや、3Rの意義についても交えてお話し出来ればよいと思っている。（委員）

・見学者の応募は、広報みなどで行うのか。（委員）

⇒ 募集記事を広報みなどに掲載し、申込順で受け付けをする。（事務局）

・申込順とは、どういう意味か。（委員）

⇒電話及びFAXの到着順という意味である。（事務局）

・前は、何名の見学者がいたか。（委員）

⇒ 前回の昭和電工様のプラスチックリサイクル工場への見学会は、14名の方が参加された。（事務局）

・希望者にはコーヒー豆を使ったたい肥を小分けにして差し上げることを考えている。あわせて、段ボールコンポストのPRができればいい。（委員）

（8）エコ料理教室の開催について（案）

●事務局からの説明

・港区3R推進行動会議では、区民の方に料理を通して身近にできる3R活動を学んでいただき、リデュース（発生抑制）の意識向上を目的としている。エコ料理教室は、例年、受講者から「もっと開催して欲しい」等の声もある満足度が高いプログラムの一つである。

今年も、親子向けと一般向けの2回を予定している。親子向けエコ料理教室の開催日時は、11月14日（土）午後1時から3時半である。一般向けは、11月26日（木）午後1時から午後3時半である。会場は、男女平等参画センター（リーブラ）料理室を予定している。

●主な発言

・参加費は無料なのか。また、料理教室の後は試食をすると思うが、開催時間が食事の時間と合っていないと思う。（委員）

⇒ 参加費は、食材費として300円～500円をいただくことを予定している。開催時間については、9時ごろに講師とスタッフが集合して、下ごしらえ等の準備をするので、どうしても午後1時頃からのスタートになってしまう。夜の開催も検討したが、会場の使用が21時半までであり後片付け等を考慮すると18時頃の開始になってしまう。いろいろ検討した結果の時間である。（事務局）

（9）平成28年度の新規事業等について

●事務局からの説明

・来年度の3Rを一層推進するために必要な事業に関し、新規や拡大、見直し等を含め、

現地点で3R推進行動会議委員の意見を伺いたい。平成28年度の予算計上が9月中に協議となるため、いただいた意見を参考に次年度の予算編成を行う。

・段ボールコンポストの出前講座を積極的に増やしたいと考えている。エコプラザのイベント終了後に15分～20分程度の時間を借り、PRを行うことにより、予算を上げずに普及活動ができると考える。

・エコ料理教室は、非常に人気のあるイベントであり、月1回の連続教室にすることも検討している。その中で3Rの啓発活動を行いたい。

・事業者セミナーでは、事業者同士の情報共有の場を設けながら、著名人を呼ぶようなイベント構想もある。

●主な発言

・段ボールコンポストの出前講座については効果的なので、どんどん出たほうがいい。学校や学童クラブ、エコプラザに働きかけるといいのではないか。(委員)

⇒8月20日にエコプラザのイベントとコラボして実施する。また6月には、神明子ども中高生プラザで出前講座を実施した。今後も、出前講座は増やしていく予定。(事務局)

・3Rの推進は、親子を惹き付けるのが効果的と思う。「子ども3R博士を目指そう。」のような、将来ためになる講座を作って、3Rに詳しくなって帰っていただく。商品だけではなく、満足感、達成感が得られるようなイベントを企画してはいかか。参考として、林野庁が行っている「子ども樹木博士検定」があり、午前中は樹木について勉強をし、午後には試験を受ける。試験の結果によって、何級とか何段を認定するもの。また、東京海洋大学の学生が行った「リーカムクエスト」というゲーム形式のものがある。また、バンダイ等とタイアップして、リユースとコラボするゲーム等であれば、子どもが楽しめる内容になると考える。民間のリソース(お金・人)を利用して、区の予算をかけないで実施する方法もある。(委員)

⇒親子を惹きつけるイベントと言えば、今年度、エコプラザと連携して「リユースカフェ」を実施する予定である。「リユースカフェ」とは、子ども服や絵本を持ち寄って母親同士が子供服等を交換するイベントである。

・容器包装リサイクルの周知も必要と考えている。牛乳パックの工作等を通じて、3R(特にリユース)の周知をしたらいいと思う。そのためにはマイボトルのPRやスーパーのトレイを減らす取組みなど、イベントを1～2つ取り入れることも必要である。(関根委員)

・マイバッグについては、スーパーで行われているポイントや割引制度等により浸透してきている。(委員)

・レジ袋の配布については、事業者は縮小したいと考えている。しかし、レジ袋はいろい

ろな使用用途があるため、消費者は必要と考えている。廃止するまでにはいかないのが現状である。（委員）

・対象を絞った活動と、広く一般を対象としたパネル展示等の2つの方法は、3RのPRには、効果的と考える。港区のごみの多くは、事業者から出ている。本年度の事業予定等をみると、事業者の参加が少ない。事業者へ積極的な働きが必要である。（委員）

・子ども向けの出前講座は良いと思う。児童館では、いろいろなイベントを行っているので、そのイベントに加わるべきである。（委員）

・区役所のパネル展示は、土日はなく、土日でも営業している各支所のイベントスペースを活用してほしい。（委員）

⇒ パネル展示は、各地区総合支所で実施することを検討している。（事務局）

・パネルがたくさんあると見る気になれない。3枚くらいのパネルであれば、見る側も見やすいと思う。そのパネルを交換しながら展示することもいいと思う。（委員）

・区役所で行う企業の活動内容を示したパネル展示は、なかなか見る機会が少なく、近くの支所等でパネル展示をしていれば3RのPRは効果的だと思う。（座長）

4 その他

・次回の会議予定日

第3回3R推進行動会議 10月26日（月）午後2時～4時エコプラザ会議室A

以上